

## 山鹿JC - 熊本県 -

# シニア会・グラランドシニア会は合併し 一丸となつて現役を応援します

(社)山鹿青年会議所は1966年7月7日に設立され、1971年10月13日、(社)玉名青年会議所にスポンサーいただきました。全国472番目の会員会議所として認承されました。設立と認承の間に5年の差がある理由は、当青年会議所がもう1つの認承番号(101)を持つことと関係していますが、長くなので割愛することをお許しください。

当青年会議所では、90年代に日本JCにおいても高く評価された「八千代座を核としたまちづくり運動」「温泉宅配事業」をはじめ、2000年代には



認承記念会で挨拶する  
木村岳三会長

地域を代表する祭である「灯籠まつり」にバリアフリーの概念を取り入れ

た「晴れと日常(け)のやさしいまちづくり運動」など、地域の魅力を活かした様々な事業に取り組んできました。06年の創立40周年認承35周年記念大会では、国内初の装飾古墳専門の博物館「熊本県立装飾古墳館」(山鹿鹿本地域を流れる菊地川の流域には国内の1/5の装飾古墳が点在しています)を式典の会場として使用し、08年には国指定史跡「鞠智(きくち)城」を舞台に子どもたちの音楽の祭典「鞠智城千三百年祭」を開催するなど、その伝統は今でも現役メンバーの中に生き続けています。

OB会である「山鹿青年会議所シニア会」は本年木村岳三会長をはじめとする110名のメンバーにより構成され、会員相互の親睦と現役の支援を目的として活動しています。主な活動として、年3回の総会、大望年会、現役と共に行なう認承記念会・合同例会などを行なっています。認承記念会では、認承伝達式が行なわれた4月23日を記念日として記念の地「日輪寺」を会場に毎年開催しています。近年では、天候の都合もあり別会場での開催が多くなっていますが、シニアと現役の良い交流の場となっています。また、当会はこれまでシニア会(55歳以下)・グラランドシニア会(56歳以上)の2つに分かれていましたが、本年合併して1つの会として活動することとなりました。今後すべてのOB会員が一丸となり、様々な困難に負けず頑張っている現役を応援してまいります。

日本JCシニア・クラブ  
熊本ブロック担当幹事

中野真二



「灯籠まつり」にバリアフリーの概念を取り入れた「晴れと日常(け)のやさしいまちづくり運動」。



国指定史跡「鞠智(きくち)城」を舞台にした子どもたちの音楽の祭典「鞠智城千三百年祭」。